



絵画・写真展 最優秀賞作品 「進化進行中 野々市市」

市章

旧野々市町、富奥村の合併5周年を記念して、昭和35年6月15日に制定されました。

市章は、平仮名で「のの」を組み合わせ分銅を形成し、市の融和発展を象徴した簡潔清爽な意匠となっています。

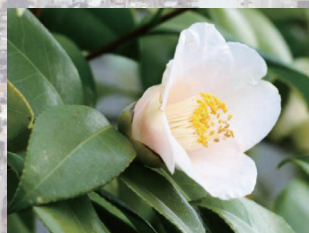


市の花木

市の花木は椿(ツバキ)です。

(昭和49年6月19日選定)

椿には「野々市」という、本市の名称を冠した白とぎにうすく朱いろ鶯色いろがかかった美しい品種があります。



市の宣言

愛と和の都市宣言	昭和49年6月19日	決議
平和都市宣言	昭和59年3月19日	決議
ゆとり創造宣言	平成 2年6月22日	決議
健康都市宣言	平成 2年6月22日	決議
美しいまちづくり宣言	平成 9年9月19日	決議



発刊のごあいさつ

私がまだ子どもだった頃、野々市の多くは豊かな田園でした。

春のたんぼにはカエルやドジョウが泳ぎ、夏にはホタルが飛び交い、秋になれば赤トンボが空いっぱい舞い、冬には雪と親しみ遊ぶ、そんなまちでした。

となり近所とは、まるで家族のようなおつきあいがあり、みんなで子どもたちの遊びを見守っている、そんなまちだったように思い出します。

私が小学生であった昭和45年前後だったと思いますが、家々が建ちならび、まちがにぎやかになりはじめました。

それから40年あまりがたち、まちはますます大きく発展し、平成23(2011)年11月1日には、石川県内で11番目の市になりました。

私たちを取り巻く時代や社会は大きく変わり続けています。

毎日の暮らしは昔に比べて格段に便利で快適になり、これからもますます便利で快適になっていくことでしょう。

先人たちが私たちに残してくれた歴史と伝統、そして、築き上げてこられたまちづくりをしっかりと受け継ぎながら、野々市の“市”にふさわしい市場のように人々やモノ、情報や知識などが集い、にぎわうまちづくりを、また、野々市に生まれ、育ち、住むことに誇りと生きがいを感じることができ、そんなただひとつの私たちの“野々市”を、市民の皆さんといっしょに創っていきたいと思っています。

また、この計画を策定するにあたって、ご協力をいただいた多くの皆さんには、厚く感謝を申し上げます。

誰もが憧れ、誰もが住みたくなる、そんな“野々市”をみんなの力で創り上げましょう。

平成24年3月

野々市市長 粟 貴 章

